

対象

全国の高校1、2年生・中等教育学校4～5年生・高等専門学校1～2年生（2020年4月時点での学年）

*毎月2回程度、主に土曜日に開催される東京大学で行う講座を受講できる方

募集人数

第一段階	40名程度
第二段階	15名程度 *第一段階受講生から選抜

費用

受講費用は無料

*大学までの交通費は受講生負担となりますが、遠方の方に限り、一部を補助する予定です（詳細は事務局までお問い合わせください）。

スケジュール

2020年度 第2期受講生スケジュール

2020年 第一段階

募集・選抜	4月1日(水)	受講生募集開始
	5月18日(月)	受講生募集締め切り
	6月	書類選考
第一段階 (7月～12月)	7月23～24日 (木、金)	第一段階ガイダンス (1泊2日合宿形式) 基礎の学習(統計、線形代数、 微分積分の基礎など)
	9月5日(土)	STEAM(教科・科目横断)型学習1
	9月26日(土)	STEAM(教科・科目横断)型学習2
	10月17日(土)	STEAM型価値創造ワークショップ
	11月14～15日 (土、日)	全国受講生研究発表会 (聴講のみ・自由参加)
	11月28日(土)	成果発表会
	12月	研究提案書の提出 (第一段階終了)

2021年 第二段階

選抜	1月	書類選考及び面接選考
第二段階 (2月～12月)	2月20日(土)	第二段階ガイダンス 研究の手引き、研究倫理など
	3月～12月	研究活動、発表会など (スケジュールの詳細は2019年度受講生 のスケジュールをご参照ください。 https://gsc.iis.u-tokyo.ac.jp/schedule/)
	12月	最終レポートの提出 (第二段階終了)

補強段階として2021年2月6日(土)にワークショップを開催します。

*都合により講義内容・講師・日程等が変更になる場合があります。予めご了承ください。
*第二段階での研究活動のスケジュールは、研究室や研究内容によって異なります。

応募方法

- UTokyoGSCのホームページから「応募方法」へアクセスしてください。
<https://gsc.iis.u-tokyo.ac.jp/>
- ホームページの「WEB登録」より基本情報を記入して送信してください。
- 発行されたリンクより①「自己推薦文」②「レポート」のフォーマット(Wordファイル)をダウンロードし、入力してください。
*レポートでは、興味のある科学技術分野における疑問点やその解決方法について自分の考えをまとめてください。
*できるだけパソコンを使って作成してください。
- ①「自己推薦文」②「レポート」をメール添付でUTokyoGSC事務局(utokyogsc@iis.u-tokyo.ac.jp)までお送りください。
*件名に「GSC2020への応募」と明記のうえ、ファイルを添付して送ってください。

応募についてご不明な点がありましたら下記よりお問い合わせください。
<https://gsc.iis.u-tokyo.ac.jp/contact/>

応募期間

2020年4月1日(水)～2020年5月18日(月) 正午

受講生の決定について

応募者から提出された書類をもとに選抜を行います。
2020年6月19日(金)頃までに受講の可否についてご連絡します。

個人情報等について

応募いただいた方の個人情報は、本プログラム目的以外の用途に使用いたしません。また、個人情報保護のため責任をもって管理します。本プログラム中に撮影した写真・映像などをホームページや広報などに使用することがあります。

お問い合わせ先

〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1
東京大学生産技術研究所 次世代育成オフィス
UTokyoGSC事務局
電話：03-5452-6799
お問い合わせ：<https://gsc.iis.u-tokyo.ac.jp/contact/>

ホームページへ



2020年度 東京大学

グローバルサイエンスキャンパス(UTokyoGSC)

イノベーションを創出するグローバル科学技術人材の育成プログラム

東京大学で
研究活動をしたい
高校生募集!



UTokyoGSCは国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が支援する人材育成事業です。



東京大学生産技術研究所
Institute of Industrial Science, The University of Tokyo



東京大学で研究活動をしたい高校生募集!

UTokyoGSCは、グローバルな視点に立って、今後の社会をデザインできる革新的な科学技術人材を育成するプログラムです。科学技術に卓越した意欲と能力を持った高校生を発掘し、海外大学や企業と連携して、STEAM*型の領域を横断した学際的な視点を養います。*STEAM: Science, Technology, Engineering, Arts, and Mathematicsの頭文字をとったもの。

東京大学のSTEAM教育とは?
多様な分野に触れることで、知識を融合し、新しいアイデアを創出する力および科学技術と社会とのつながりにも着目した学際的な視点を獲得することを目指します。

本プログラムは、2段階の活動を通じて5つの能力の習得と向上を目指します。

5 研究マネジメント能力 (成果を具現化する力)

3 課題解決能力 (課題を解決する力)

1 知識俯瞰能力 (知識を俯瞰する力)

4 研究検証能力 (次の課題を抽出する力)

2 情報分析能力 (情報を分析できる力)

第一段階
創造性を
育む

第二段階
創造性を
形にする



第一段階 創造性を育む

知識を有機的につなげ、深い学びへと発展できる能力を育成

7月~12月

成果発表会・研究提案書の作成

プレゼンテーションによるコミュニケーション能力の向上
意見交換による研究計画の見直し

STEAM価値創造ワークショップ

個人ワーク、グループディスカッションによる学習

- 研究テーマの検討
- 研究プロセスの具体化
- 研究の目的および課題の抽出

STEAM(教科・科目横断)型学習

最先端の研究についての学習

- 研究の最前線について知る
- 社会的課題を考える

基礎の学習

分析に必要な統計基礎
研究に必要な数学基礎

- 統計
- 微分・積分
- 線形代数

知識の俯瞰
情報分析

研究について
考える

研究に必要な
基礎知識の
習得

補強段階 創造性を 強化する

1つの科学テーマを題材にしてグループ
協調学習により
知識俯瞰能力や
情報分析能力を
強化していきます。



第二段階 創造性を形にする

研究活動を通して問題を解決し、次の課題を見出す能力を育成

翌年2月~12月

研究発表

研究者(大学・企業)とのディスカッション

- 中間発表
- 成果発表
- 研究レポートの作成

研究成果によって外部発表の機会あり(学会発表、論文発表、科学オリンピック、科学コンテスト等)

研究活動

- 研究に関する安全指導
- レビュー論文や文献の調査
- 研究内容に応じた研究活動
(実験・シミュレーション・フィールドワーク等)

研究入門

研究に必要な基本的なスキルを習得

- 研究の手引き
- 論文の書き方
- 研究倫理
- 英語プレゼンテーション

研究を
マネジメント
する

研究の検証

研究の実践
課題の解決

研究に必要な
基礎知識の
習得



第一段階を終え、これから研究活動を始めようとしている受講生に聞いてみました。 2020年2月6日時点

①なぜUTokyoGSCに参加しようと思ったのですか? ②第一段階に参加した感想を教えてください。

井澤智優さん(名古屋市立立陽高等学校2年)

- ①海外大学や企業と連携し、STEAM型の領域を横断した学際的な視点を養うというプログラムに魅力を感じたから。
- ②講義は興味深いけれど、課題も大変だったが、自分を追い詰めて新しい境地が開けた貴重な体験だった。

塩谷明日香さん(三田国際学園高等学校2年)

- ①同じ世代の意識の高い仲間がどんな考えを持っているのか知りたかった。また共に高め合いたいと思ったから。
- ②研究を行う方の講義を聞いたり研究計画を立てることで、研究というものをもっと現実的で身近なものになった。

今野美晴さん(秋田県立秋田高等学校1年)

- ①東京大学で実際に研究室に所属して研究活動ができるという点にとても魅力を感じたから。
- ②全国から集まった仲間と一緒に、講義や議論を通して科学の広い世界を見、経験することができた。

森川伊織さん(広島大学附属福山高等学校1年)

- ①学校に掲示されたポスターを見てこんな機会は無多に無いと思い、自分の研究で社会に影響を与えたいという体験を試みたため参加しました。
- ②実際に研究をされている先生方からお話を聞いた事はとても良い経験になりましたが、なにより同じ志を持った同年代の仲間との交流は大きな経験になりました。